

科目名 Course Name	経営学入門Ⅱ Introduction to Management Ⅱ			ナンバリング No.	C2-003		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡方法	C-Learningにて対応、オフィスアワー：本館2F(研究室)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	この講義では、現代社会の重要な機関としての「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを学修し、その存続と発展にとって不可欠な「経営」という機能について、基礎理論や事例等を通じて体系的に学修できるようになることを目標とする。 ①「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを習得できる。 ②「経営」という機能について、基礎理論や事例等を通じて体系的に学修できる。						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、経営戦略論の知識をベースに自分の頭で考え「問題発見・解決」に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを習得できる。 「経営」という機能について、基礎理論や事例等を通じて体系的に学修できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、C-Learning等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[経営学入門Ⅱ 2026年度版]”を活用する。/ 参考図書は随時指示する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回180分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:46年)、実務経験を技術経営戦略の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	S評価の基準:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。			30	
発表	S評価の基準:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20	
小テスト	毎時間実施。満点の基準:全ての解答が正解。			20	
試験	16週目に実施。満点の基準:全ての解答が正解。			20	
その他					
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ、学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	「経営戦略」とは何か①ケーススタディ「環境変化と企業戦略」(経営戦略を学ぶ前提として、企業を取り巻く環境の変化とそれに対応する具体的な企業のケースを学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	「経営戦略」とは何か②ケーススタディ「戦略の策定から実行」(企業が戦略を策定した後の、組織での実行プロセスを学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	「経営戦略」とは何か③経営戦略の理論と分析ツール(企業の経営戦略の理論と、具体的な戦略のケースを分析するための枠組みについて学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	「経営戦略」とは何か④戦略分析レポートの作成(前回の分析枠組みを使いながら、各自が興味のある企業データを用いて分析レポートを作成するためのトレーニングを行う)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	「経営組織」とは何か①ケース「学校における組織体験」(具体的なケースを紹介し、そこから「組織の問題とは何か」を学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	「経営組織」とは何か②組織分析の理論的枠組み①(経営組織の理論とケース分析の枠組みを学ぶ。①は、「組織と人間の問題」を扱う)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	「経営組織」とは何か③組織分析の理論的枠組み②(経営組織の理論とケース分析の枠組みを学ぶ。②は、「組織と環境の問題」を扱う)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	「組織とリーダーシップ」①ケース「企業のリーダーシップ」(リーダーシップとは何かについて、主に企業リーダーの事例を取り上げて学習する)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	「組織とリーダーシップ」②理論を用いた前回のケース分析(経営組織論のところで学んだ分析枠組みを用いて、前回のケースを分析する)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	「経営の目的と理念」(「事業」「企業」「経営」「戦略」「組織」を総合して、「経営目的」「経営理念」の意味と必要性について学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	「経営責任」とは何か(「経営責任とは何か」ということを、理論とケースの双方から学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	現代の経営問題:グローバル化と情報化(情報化とグローバル化に焦点をあて、理論とケースの双方から学ぶ)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	総合討論「企業の責任とは何か」(講義の総復習を行い、最後にクラス全体での討論を行う)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	総合討論「企業の責任とは何か」(講義の総復習を行い、最後にクラス全体での討論を行う)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該20頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

